

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公開番号】特開 2020-28518 (P2020-28518A)

【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-008

【出願番号】特願 2018-156749 (P2018-156749)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 10 日 (2021.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の表示演出を実行可能な表示手段を備える遊技機であって、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 1 の表示演出をおこなう場合があり

、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 2 の表示演出をおこなう場合があり

、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 3 の表示演出をおこなう場合があり

、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 4 の表示演出をおこなう場合があり

、

前記第 1 の表示演出は、通常変動領域において装飾図柄の変動をおこなう演出であり、

前記第 2 の表示演出は、前記通常変動領域の少なくとも一部において前記装飾図柄が停止するための第 1 のターゲット領域を表示する演出であり、

前記第 3 の表示演出は、前記第 1 のターゲット領域とは異なる領域であって前記通常変動領域の少なくとも一部において前記装飾図柄が停止するための第 2 のターゲット領域を表示する演出であり、

前記第 4 の表示演出は、所定の演出をおこなう演出であり、

前記第 1 の表示演出と前記第 2 の表示演出と前記第 3 の表示演出と前記第 4 の表示演出とを含む組み合わせ演出がおこなわれる場合があり、

前記組み合わせ演出では、前記第 1 の表示演出がおこなわれ、その後、前記第 2 の表示演出と前記第 3 の表示演出とがおこなわれ、前記第 2 の表示演出において前記第 1 のターゲット領域に前記装飾図柄が停止表示し、かつ、前記第 3 の表示演出において前記第 2 のターゲット領域に前記装飾図柄が停止表示したことに基づいて、前記第 4 の表示演出がおこなわれる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

[適用例 1]

複数の表示演出を実行可能な表示手段を備える遊技機であって、
前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 1 の表示演出をおこなう場合があり

- 、
- 前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 2 の表示演出をおこなう場合があり
- 、
- 前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 3 の表示演出をおこなう場合があり
- 、
- 前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第 4 の表示演出をおこなう場合があり

前記第 1 の表示演出は、通常変動領域において装飾図柄の変動をおこなう演出であり、
前記第 2 の表示演出は、前記通常変動領域の少なくとも一部において前記装飾図柄が停止するための第 1 のターゲット領域を表示する演出であり、

前記第 3 の表示演出は、前記第 1 のターゲット領域とは異なる領域であって前記通常変動領域の少なくとも一部において前記装飾図柄が停止するための第 2 のターゲット領域を表示する演出であり、

前記第 4 の表示演出は、所定の演出をおこなう演出であり、

前記第 1 の表示演出と前記第 2 の表示演出と前記第 3 の表示演出と前記第 4 の表示演出とを含む組み合わせ演出がおこなわれる場合があり、

前記組み合わせ演出では、前記第 1 の表示演出がおこなわれ、その後、前記第 2 の表示演出と前記第 3 の表示演出とがおこなわれ、前記第 2 の表示演出において前記第 1 のターゲット領域に前記装飾図柄が停止表示し、かつ、前記第 3 の表示演出において前記第 2 のターゲット領域に前記装飾図柄が停止表示したことに基づいて、前記第 4 の表示演出がおこなわれる、

ことを特徴とする遊技機。